

■ HOME-UNIT の通信仕様（ポート）について

HOME-UNIT は、正常に稼働するためにインターネット上のメーカサービスやサーバーに定期的に接続し、情報の取得／照会／提供をおこなっています。

万が一、ルータで接続制限等を行っている場合、HOME-UNIT の機能がご利用いただけなくなるため、事前に「導入サポートツール」を実行し接続制限の有無を確認してください。

導入サポートツールとは

HOME-UNIT をご利用いただけるか、事前に確認するためのツールです。
以下 URL から「HOME-UNIT 導入サポートツールについて」を参照ください。

<https://hmbx.canon.jp/agreement/index.php/wp-unit>

■ HOME-UNIT が利用するポートとその目的

導入サポートツールの実行結果で『HOME サービスをご利用いただけません』と表示された場合、**ルータ管理されている方、およびプロバイダ(※)**にご利用中の HOME-UNIT が利用するポートの開放をご依頼ください。

※まずはルータの開放設定をいただき、再度導入サポートツールを実行し、改善しない場合はプロバイダにご相談ください。

➤ HOME-UNIT2 /HOME-UNIT2 Pro

使用ポート		利用目的	閉じている場合の影響
TCP	80	機器のライセンス更新、定義ファイル更新	UTM 機能を利用できません。
TCP	443		
UDP	514	検出ログのアップロード	レポートが利用できません。
UDP	123	公開 NTP サーバーとの時刻同期	脅威検出時刻がずれる可能性があります。
TCP	9124,9127, 9128,9129, 9990,9991, 9992	HOME-CC からの遠隔メンテ、死活監視に利用します。	万が一遠隔メンテが必要となった場合、お客様のパソコンをお借りする必要があります。また、監視機能が利用できません。
TCP	465	アラートメール配信	アラートメールを発行できません。

➤ HOME-UNIT3 /HOME-UNIT3 Pro

使用ポート		利用目的	閉じている場合の影響
TCP	80	機器のライセンス更新、定義ファイル更新、HOME-CC からの遠隔メンテ、死活監視に利用します。	UTM 機能を利用できません。
TCP	443		万が一遠隔メンテが必要となった場合、お客様のパソコンをお借りする必要があります。また、監視機能が利用できません。

UDP	514	検出ログのアップロード	レポートが利用できません。
TCP	443		※UDP514 ポートが閉じている場合、設置直後に検出ログのアップロードができない場合があります。
UDP	123	公開 NTP サーバーとの時刻同期	脅威検出時刻がずれる可能性があります。
TCP	465	アラートメール配信	アラートメールを発行できません。

※TCP:80,443,587 は汎用ポートのため、開放されている場合があります。

➤ HOME-UNIT4 /HOME-UNIT4 Pro

使用ポート		利用目的	閉じている場合の影響
UDP	67	DHCP サーバーとの通信	DHCP サーバーが利用できません。
TCP	80	機器のライセンス更新、定義ファイル更新、HOME-CC からの遠隔メンテ、死活監視に利用します。	UTM 機能を利用できません。
TCP	443		万が一遠隔メンテが必要となった場合、お客様のパソコンをお借りする必要があります。また、監視機能が利用できません。
TCP	443	検出ログのアップロード	レポートが利用できません。 ※UDP514 ポートが閉じている場合、設置直後に検出ログのアップロードができない場合があります。
UDP	123	公開 NTP サーバーとの時刻同期	脅威検出時刻がずれる可能性があります。
TCP	465	アラートメール配信	アラートメールを発行できません。

※TCP:80,443,587 は汎用ポートのため、開放されている場合があります。

➤ HOME-UNIT4L /HOME-UNIT4L Pro

使用ポート		利用目的	閉じている場合の影響
UDP	67	DHCP サーバーとの通信	DHCP サーバーが利用できません。
TCP	80	機器のライセンス更新、定義ファイル更新、HOME-CC からの遠隔メンテ、死活監視に利用します。	UTM 機能を利用できません。
TCP	443		万が一遠隔メンテが必要となった場合、お客様のパソコンをお借りする必要があります。また、監視機能が利用できません。

TCP	443	検出ログのアップロード	レポートが利用できません。 ※UDP514 ポートが閉じている場合、設置直後に検出ログのアップロードができない場合があります。
UDP	123	公開 NTP サーバーとの時刻同期	脅威検出時刻がずれる可能性があります。
TCP	465	アラートメール配信	アラートメールを発行できません。

※TCP:80,443,587 は汎用ポートのため、開放されている場合があります。

➤ HOME-UNIT5 /HOME-UNIT5 Pro

使用ポート		利用目的	閉じている場合の影響
UDP	67	DHCP サーバーとの通信	DHCP サーバーが利用できません。
TCP	80	機器のライセンス更新、定義ファイル更新、HOME-CC からの遠隔メンテ、死活監視に利用します。	UTM 機能を利用できません。
TCP	443		万が一遠隔メンテが必要となった場合、お客様のパソコンをお借りする必要があります。また、監視機能が利用できません。
TCP	443	検出ログのアップロード	レポートが利用できません。 ※UDP514 ポートが閉じている場合、設置直後に検出ログのアップロードができない場合があります。
UDP	123	公開 NTP サーバーとの時刻同期	脅威検出時刻がずれる可能性があります。
TCP	465	アラートメール配信	アラートメールを発行できません。

※TCP:80,443,587 は汎用ポートのため、開放されている場合があります。

以上